広報 那覇市民の友

第641号 毎月1回発行
2004年(平成16年)
6月

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎867-0111 ●印刷 光文堂印刷㈱

市の人口と世帯
※( )内はうち外国人
2004(平成16)年4月末現在

| | |
|---|---|
| 総人口 | 311,596(1,898) |
| 男 | 150,751( 976) |
| 女 | 160,845( 922) |
| 世帯数 | 124,065(1,127) |

住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)

| | |
|---|---|
| 本庁 | 89,716 |
| 真和志 | 105,468 |
| 首里 | 59,019 |
| 小禄 | 55,495 |

# あがるしぶきは国際色

沖縄では、「ハーリー鐘が鳴り響くと、梅雨が明ける」と言われます。

しかし、新暦の5月4日前後に行われる那覇ハーリーでは、梅雨の訪れを告げるといわれ、少雨傾向が続く沖縄全島に、恵みの「梅雨入り宣言」が、祭りの最終日に報告されました。

約600年前に中国から伝わり、航海の安全と豊漁、五穀豊穣を祈願する行事として、執り行われたものと言われています。

第30回目を迎えた今年の那覇ハーリーは、爬龍船競漕の本場、中国から最強チームが参加し優勝するなど、国際色ゆたかな記念大会となりました。

アメリカ(駐留米軍チーム)

インドネシア(マグロ漁業研修生チーム)

中国(広東省東莞市石龍鎮チーム)

主な紙面

市政功労者を表彰 3
6月は環境月間です 2
三位一体の改革ってナンのコト(特集) 4 5
6月6日は県議会議員選挙の投票日です 6
情報PACK 7

## 市長2人談 TAIDAN ⑭

上里(うえざと) 直子(なおこ)

NPO法人沖縄県自立生活センター イルカ理事

脳性マヒを発症しながら車椅子の生活を送り自立生活センターの理事を務め、障害者のカウンセリングや自立生活プログラム作成などを行う。今年4月、障害を抱えながら自立して社会福祉活動に貢献した人に贈られる「ありのまま自立大賞」の「自立奨励賞」を受賞。

### 特別でない普通の暮らしを

**翁長雄志市長** 上里さんは、市営住宅で一人暮らしを始めて11年目になるようですが、今日までのお話しを聞かせていただけますか。

**上里直子さん** 一人暮らしをはじめた頃は、ホームヘルパー制度は活用されてなく、「話し相手」というものでした。市に対して日常生活を世話してほしいとお願いして、ようやく生活することができ、自分のスケジュールが自由に決められることが、とてもうれしく思いました。

**市長** 役所での申請など、福祉の部署と市営住宅の部署との連携が取れていなく、その辺の苦労もあったようですね。こうした経験をいかし、障害を持っている方の支援をしているようですが。

**上里** 私たちを支えてくれる制度があることを知らずにあきらめている人が多く、役所に行っても聞いたことしか応えてくれません。だから支援が必要なのです。

**市長** 同じような壁にぶつかっている人も多いのでしょうか。障害者の方でなくても、窓口が親切でなければ困ることは、たくさんあります。市民課ではISO9001という、対応を良くしましょうという運動を行っていますが、ほかの窓口でも、その運動が広がるよう、がんばりたいと思います。上里さんの要望はありますか?

**上里** 路線バスがまだバリアフリーされていないことです。私たちや高齢者が市内を自由に移動できる、乗りやすいバスを走らせてほしいです。

**市長** 民間なので難しいところもありますが、話し合いながらバス会社にお願いしたいと思います。

**上里** 少し難しい質問ですが、市長は障害者をどうとらえていますか。

**市長** 市長として、地域の活性化や発展を望まれたときに、その人に福祉の考えがないと、話しを進めるうえで、とても厳しいと感じます。健常者でも歳をとると、誰でも障害者になる可能性は大きく、共通の問題として考えてなければいけないと思っています。

**上里** 私は、小学校で養護学校に入れられて、周りから見えない状況に置かれました。大人になって外に出て初めて、私は障害者なんだと知らされました。障害を持っていても当たり前のように生活できる世の中を作っていくためにも、まずは、行政から変えていって欲しいと思います。

**市長** 私ももっと責任を持って取り組んでいきたいと思いました。ぜひ、今後も意見交換をさせてください。

本紙は「カラーバリアフリー(色覚障壁の除去)」につとめています。 お気づきの点がありましたらお寄せ下さい。☎862-9942 秘書広報課

R100 再生紙を使用しています。